

広島

コンクリート劣化防止に知恵



「何も手を打たなければ、劣化した公共物からどんどんコンクリートが剥がれ落ちる」と話すのは、コンクリートメンテ

ナンス協会（広島市中区）の徳納剛会長（福德技研社長）。橋脚などコンクリートの構造物に亜硝酸リチウムを注入して劣化を防ぐ工法の周知に力を入れる。

昨年は全国28カ所で講演会を開き、計約3千人が参加。「造り直すより安価で、経済的だ」と訴える。

設計上の耐用年数が迫る構造物は多い。「工法を広め、安心して暮らせる街にしたい」（山田英和）